

上西春別学区CS
めざす子ども像

「笑顔をつなごう～心をひとつに～」
健康な上西の子・あいさつができる上西の子・思いやりのある上西の子

小中共通
教育目標

学びの山を登り切ろう

めざす姿く～ようになりたい・したい

自主【学びと活用・自己実現】	協働【相手意識とコミュニケーション】	健康【心身の健康とやり抜く力】
自己との対話を通し、自分なりの学び方をさらに深める 自分との対話・自分の学び方を探求・学び方ガイドの活用・ICTの活用・思考ツールの活用 A1	他者との対話を通し、苦手を受け入れ良さを認め合う 多様性の尊重・対話を通しての相互理解・良いところを見つけ合う・苦手は補完し合う関係 B1	心と体の健康状態を自覚し、自ら生活改善を図る 自分の心と体の状態に耳を傾ける・身体の訴えから見える生活把握・自分でできる生活改善 C1
熟慮し考えをまとめることで、工夫して表現・行動する じっくり考える・相互に聴き合う・批判的な検証・考えをまとめる・伝える力・豊かな表現や活動 A2	対立を調整し、相手意識を持って共に成長し合う 対立と葛藤の克服・ジレンマの調整・相手の立場になって考えなおす・アウフヘーベン（止揚）・折り合いをつける B2	継続的に思考を改善し、ねばり強くやり抜く try&error・様々な方法を考えてみる・ねばり強くチャレンジ・できることから取り組む C2
目的意識を働かせ、学びを自分の生活につなぐ 何のために・学びの意義を考える・質問する力・振り返り・未来につなぐ学び・生活につなぐ学び A3	自ら周囲に働きかけ、双方向で協力し合う 主体的に行動する・積極性・自ら動き出す力・始動力・双方向で支え合う B3	周囲の力をかりて、いつでもSOSを出せる 一人で頑張りすぎない・多くの人に助けを求める・時には弱音も・いつでもSOSを出せる人間関係 C3

重点課題 主体的・対話的で深い学び

学びの山を登り切るための羅針盤（Learning compass）と8つの教育基本方針

(1) 教育課程

- ①適切な編成・実施・評価・改善システム
- ②教育内容の完全な実施と原則、標準授業時数の達成を目指す
- ③1年間の見通しを持った教科時数の管理

(3) 生徒指導

- ①子ども理解を中心とした学校づくり
- ②理不尽なルールを改廃
- ③協働性と同僚性を基本とした対応
- ④常態的・先行的生徒指導の重視
- ⑤DEIに基づいた集団づくり
→差別といじめを認めない学校風土

(5) ふるさとキャリア教育

- ①ふるさとに生きる自分プランの確立
- ②横断的で系統性のあるキャリア教育
- ③3年生の進学指導のスタンダード化

(7) 健康安全教育

- ①保健室経営と保健室機能の充実
- ②「命と人権」教育を3年ローテで実施
- ③「交通安全教室」の新規実施

(2) 学習指導

- ①授業の主体者は「子ども」という視点
- ②教師の創意工夫あふれる授業実践
- ③目標とまとめが正対する授業確立
- ④ICTの効果的な活用

(4) 特別な支援を要する対応

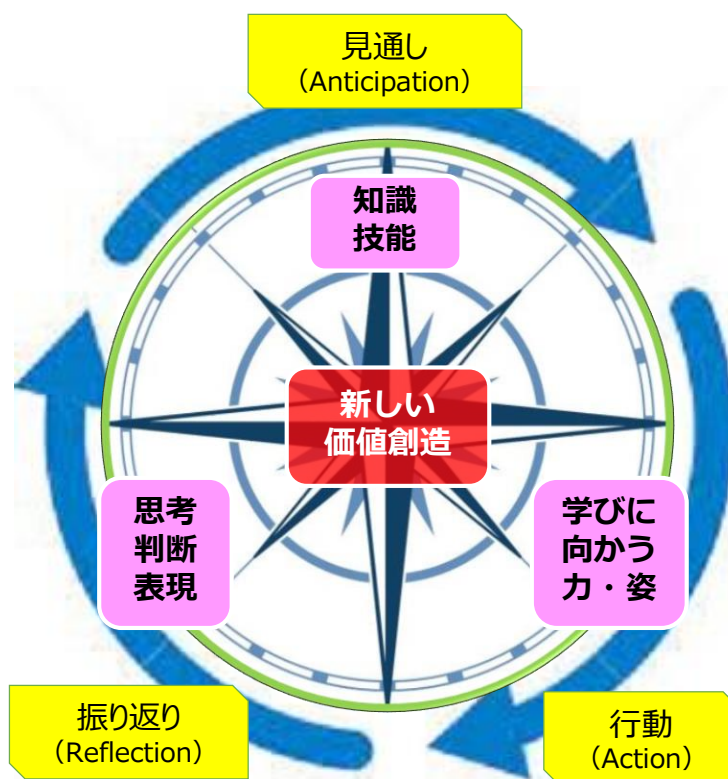
- ①学びのユニバーサルデザイン（ULD）
→ULDは「オプション志向型」
- ②適切なアセスメントと多様な支援
- ③特別支援学級と通常学級（親学級）との共通理解と連携

(6) 学校行事と特別活動

- ①学校行事の目的再構築
→「めざす姿」の具現化
- ②行事区分の明示化と学級活動の再編
- ③生徒会活動の活性化
→シティズンシップ教育の視点から

(8) 環境教育

- ①清掃指導の意義（ドゥカキズムの重要性）
- ②グランド除草・市街地清掃などの体験意義
- ③教室環境の充実…UD化を意識して



上西春別中学校を支える組織マネジメント（学校をどう動かし・地域とどう繋がり・組織がどう成長するか）

学び続ける教師

- 子どもを主語にした授業改革
⇒小中合同の授業研究
- 実践と理論の往還による力量形成
- 教える専門家から学びの専門家へ
- 服務規律と不祥事防止の啓発と研修

安心・安全な職場風土

- 協働的職場風土の醸成（DEIの推進）
- アクションプラン【第3期】の推進
⇒教師のウェルビーイング実現
- OODAループによる効率的でタイムリーな実践省察
- 実効性のある校内組織改編

開かれた学校

- R8から小中一貫校
⇒ロードマップに沿った確実な推進
- 学校経営の説明と評価の公表
- 学校評価の確実な実施・公表
- 学校情報の積極的な発信
- R7からジェンダーレス制服の導入

“生徒を「育てる」学校” から “生徒が「育つ」学校” へパラダイムシフト（概念の転換）